

議会運営委員会で佐久市・西東京市・板橋区「板橋縁宿事業」視察

11月1日2日と議会運営委員会の視察研修にいつてきました。その内容を報告します。

長野県佐久市

文化会館建設の是非を問う住民投票を実施

長野県東部、佐久盆地の中央に位置する高原都市。市内を千曲川が流れる。首都圏、日本海圏、太平洋圏を結ぶ結節都市。人口は10万人余、面積423km²余。

健康長寿のまちとして佐久総合病院を中心とした地域医療の先進的取組みは有名。市内に設置されたピンコロ地蔵は視察が絶えない。昨年4月、市民文化会館の是非を問う住民投票実施を公約として掲げ柳田清二市長が当選した。議会との確執もあったが、今年11月14日に住民投票が実施される。当初案の建設費は用地費を含め99億円、見直し案でも90億円と多額な建設費が財政を圧迫しないか心配されている。個別政策の是非を問う全国でも珍しい事例である。



佐久市の庁舎

佐久市の議会改革の取組みは

佐久市は平成17年に周辺2町1村と合併、当初は34人の定数でスタートした。最初の4年は定数問題の議論を行い21年4月の選挙から6人減28人となった。平成21年6月に議会改革特別委員会を立ち上げ、22年6月議会から一問一答方式を導入。重複質問の場合には再通告を可能とした。現在も議会基本条例の素案づくりのほか20項目余の検討をしているとのことであった。政治倫理条例は12月議会に制定を予定、議会報告会を来年度から実施することが決定済みとのことであった。

代表質問—3月の予算議会に実施。このときは一般質問を行わない。2日間を会派の人数で時間を割り振る。10人の会派は5時間（答弁含む）2人の会派は2時間とのこと。

一般質問—一問一答方式を採用、最初は登壇席で、その後、議席の前に設置される質問席で行なう。持ち時間は1人1時間（答弁含む）。

東京都西東京市

平成合併のモデルとされた市

2001年田無市と保谷市の合併で誕生。都市型対等合併のさがげとされた。人口19万人余がわずかに15.85km²の面積に。都心のベットタウンとしてマンション等が増加しており全国3番目に人口密度が高い。

西東京市の議会改革の取組みは

市議会議員選挙を真近にひかえ一時止まっているとのこと。協議のテーマは議会でのパソコン使用の問題や議会の土日開催、政治倫理など。決定済みの中には請願・陳情の取り扱い基準やルールの明確化がある。これは陳情や請願が年間70件余もあり対応が大変で整理したいとの思惑もあつてのこと。都市部の市民活動の活発さを再認識しました。

代表質問—3月の予算議会に1日かけ実施。質問時間は会派人数×10分。合計で4時間半となる。

一般質問—質問の日数は4日間。質問時間は答弁を含め一人50分以内。質問の順番は会派単位で抽選により決定する。毎議会議長を除く全員が行なうことが慣例になっていて、1日6人から7人で会議が延長になることも多いとのこと。



議会のある田無庁舎



人も配置されています。

東京都板橋区の「板橋宿縁事業」とは



宿場のサイン看板

宿場町の歴史や資源を活かし、おみくじ処を設け散策してもらおう仕組みをつくり9つの商店街が連携して取り組んでいます。第1回東京商店街グランプリを受賞しました。

高橋よしひろの議会活動通信

2010年11月11日号

袋井市大谷245 TEL・FAX (48) 6100

E-mail: wbs35910@mail.wbs.ne.jp

http://www.yoshihiro-takahashi.net

ブログ「美博の東奔西走」更新中！